

## 令和6年度 特別の教育課程（立川市民科）の実施状況等について

1. 学校名 立川市立第四小学校

2. 令和6年度 学校における自己評価（箇条書きでご記入ください。）

立川市民科の取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の担い手になろうというゴールに向けて主体的に学びを進めることができた。また、地域によさや課題をより多くの人に知ってもらうために「立川市民科祭」を実施し、地域との繋がりを深めることができた。</li> <li>・学校だよりで各学年の取組を紹介することで保護者への理解が深まってきた。</li> </ul>
立川市民科の取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部の施設や団体、地域との協力体制の維持をどう図るかが課題である。お互いに持続可能な形で進めていくことが求められる。</li> <li>・目指す姿をゴールとした上で、課題設定を子供と共に行い、学びのサイクルを子供と共に回していく意識を教員がもつことが課題である。</li> </ul>

3. 令和6年度 学校評価に係る共通項目のうち

①対象：児童・生徒

項目：⑫立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

（割合）

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
36.7%	36.3%	8.4%	2.1%	16.5%

②対象：保護者

項目：⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

（割合）

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
43.8%	39.9%	1.7%	0%	14.6%